

第1章

人をはぐくむまちづくり (教育・人づくり)



10年後に
目指す姿

ふるさとを愛し、
多様性を尊重する心豊かな人間性を育むとともに、
あらゆる世代が共に学び、
支え合えるまちを目指します。

重点テーマ

主体性・社会性の育成

重点施策

- 1 個性を伸ばし、主体性を育む人づくり
- 2 学び合い、高め合う人づくり
- 3 ふるさとを愛し、未来へ繋げる人づくり

1 個性を伸ばし、主体性を育む人づくり



4 質の高い教育を
みんなに

10 人や国の不平等
をなくそう

11 住み続けられる
まちづくりを

目標

一人ひとりの個性や感性を伸ばし、主体性を育みます

- 一人ひとりが学ぶことの喜びを実感できる学校教育の展開
- すべての子ども達が自己の力を伸ばすことができる教育環境の提供
- 市民が主体的に学ぶことができる学習機会の提供

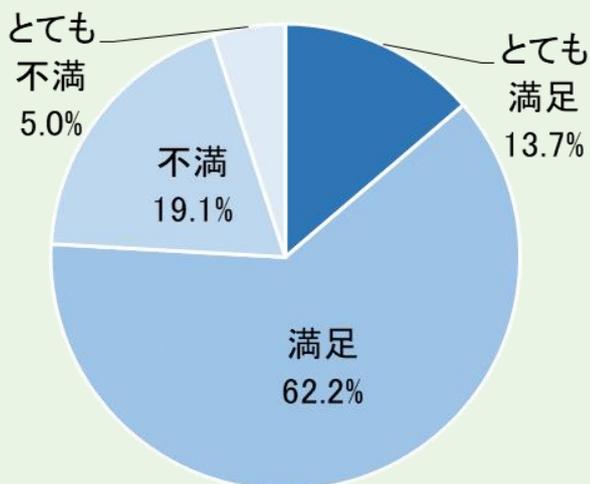
現状と課題

環境の多様な変化に柔軟に対応するための主体的に学ぶ力を身に付けた、次世代を担う人材育成が求められています

- 学習指導要領等にある「主体的・対話的で深い学び」の推進
- 自ら進んで学ぶ楽しさや友達と活動する喜びを獲得する体験の不足、いじめや体罰、情報モラル等、子どもを取り巻く環境の著しい変化
- 新型コロナウイルス感染症の影響をはじめ、休校時においても子どもの学びを止めない学習環境整備の必要性
- 特別な教育支援を必要とする幼児児童生徒及び外国人児童生徒の増加
- 市民が主体的に学べる場の充実に対する社会的要請

関連データ等

【市民アンケート「教育環境が充実している。」】



出典：2019年度 市民アンケート

【特別支援学級の児童生徒数】



■ 特別支援学級児童生徒数

—●— 全児童生徒数を占める特別支援学級児童生徒数の割合

出典：事業実績

施策の方向性

(1) 一人ひとりが学ぶ喜びを実感できる学校教育を展開します

- 学び続ける力の育成
- 豊かな人間性の育成
- たくましく生きるための健康や体力の育成
- ICT を活用した学習環境の向上

成果
指標

学校評価アンケートで「授業で学習課題に沿って自分で考えたり、まとめたりしている。」という質問に「よくできている」「大体できている」と回答した人の割合

実績 (2016)

78 %

現状 (2019)

84 %

目標 (2024)

85 %

市民、企業・団体、行政の役割

市民

- 専門的な技能を活かした授業支援
- 学校公開日への積極的な参加
- 教育 ICT 環境への理解

企業・団体

- 体験活動への協力
- 専門的な分野の授業支援
- キャリア教育への協力

行政

- 授業力を高める研修
- 指定校による研究の推進と授業公開によるすべての学校との共有
- 学習における ICT の効果的な活用

(2) すべての子どもが自分の力を伸ばすことができる教育環境を提供します

- 個に応じた指導（学校教育・幼児教育）の充実
- 特別支援教育体制の充実
- 外国人児童生徒の適応支援

成果
指標

学校評価アンケートで「授業で学習したことがよくわかっている。」という質問に「よくわかっている」「大体わかっている」と回答した人の割合

実績 (2016)

93 %

現状 (2019)

90 %

目標 (2024)

93 %

学校評価アンケートで「特別支援教育が充実している。」という質問に「よくできている」「大体できている」と回答した人の割合

実績 (2016)

89 %

現状 (2019)

86 %

目標 (2024)

89 %

市民、企業・団体、行政の役割

市民

- 一人ひとりを大切にした教育への協力
- 特別支援教育への理解
- 外国人児童生徒への理解

企業・団体

- 特別支援教育への理解
- 外国人児童生徒への理解

行政

- 一人ひとりを大切にした教育の推進
- 特別支援教育体制の充実
- 幼児教育関係団体等との連携

(3) 図書館の機能を充実し、市民の主体的な学びの場を提供します

- 知的活動を支援する図書館の充実
- 読書活動の推進
- 分館の充実を含め、より良い図書館のあり方検討

成果
指標

図書館の利用人数（年間）

実績 (2016)

470,950人

現状 (2019)

460,554人

目標 (2024)

480,000人

分館の貸出冊数・点数（年間）

実績 (2016)

1,465,463冊

現状 (2019)

1,430,688冊

目標 (2024)

1,450,000冊

市民、企業・団体、行政の役割

市民

- 図書館における読書活動への主体的参画

企業・団体

- 読書活動充実のための人材の提供

行政

- 多様な知的好奇心に対応できる蔵書の提供
- 図書館のあり方検討

【関連する個別計画】 県都まえばし創生プラン、前橋市教育振興基本計画、教育行政方針、まえばし学校教育充実指針、幼児教育充実指針、前橋市学校教育情報化推進計画、前橋市子ども読書活動推進計画

2 学び合い、高め合う人づくり



4 質の高い教育をみんなに

10 人や国の不平等をなくそう

11 住み続けられるまちづくりを

目標

多様な集団の中での社会性や、認め合い支え合う心を育み、協働してよりよい社会を創造する力を育みます

- 人間性を高める学校づくり・幼稚園づくりの推進
- 様々な地域活動を通じた社会性の育成
- 個々の学びの成果を地域づくりに還元できる社会教育の充実
- ICT を活用した協働的な学びの充実

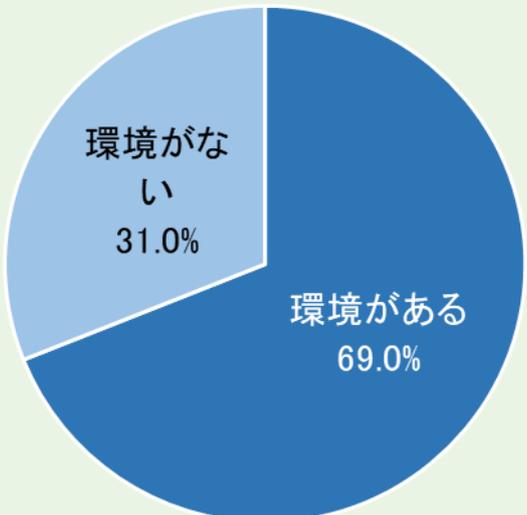
現状と課題

家庭、地域、学校の連携による様々な地域活動の中で、子どもたちの居場所づくりや人間関係の形成が求められています

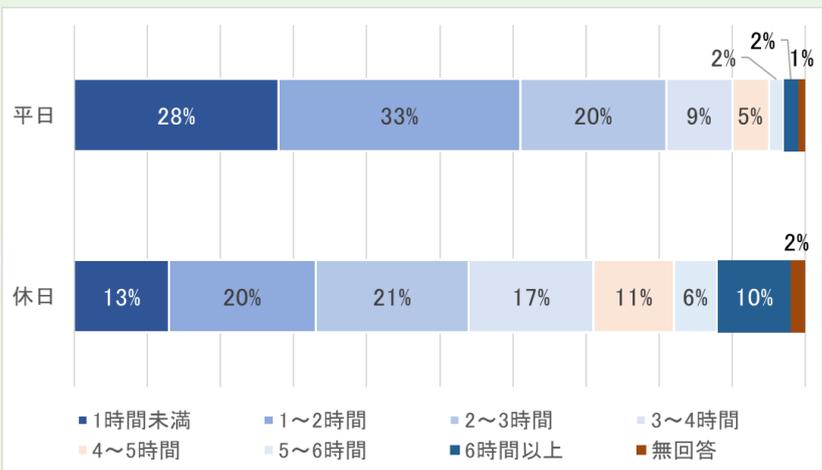
- 学習指導要領で目指している「社会に開かれた教育課程」の実現
- 家庭や地域において子どもの社会性が育まれていた場や機会の減少
- 市民が学んだ成果を活かし、地域社会との繋がりを深めていく仕組みづくり
- 経済的背景による学習環境の格差
- 変化する高度情報社会への対応

関連データ等

【自宅にインターネット学習を行う環境がある家庭の割合】



【インターネット利用時間】



出典：2020 年度 各家庭におけるインターネット環境調査（前橋市教育委員会による）

出典：2020 年度 ケータイ・インターネットにかかわる生活実態調査（前橋市教育委員会による）

施策の方向性

(1) 人間性を高める学校・園づくりを推進します

- 地域と協働する学校運営の推進
- 教員が子どもと向き合う時間の確保
- 情報モラル・リテラシーの育成

成果
指標

学校評価アンケートで「充実指針を生かした学校課題の解決に向けた取組」という質問に「よくできている」「大体できている」と回答した人の割合

実績 (2016)

93 %

現状 (2019)

91 %

目標 (2024)

95 %

市民、企業・団体、行政の役割

市民

- 専門的な知識や技能を活かした協働による学校支援

企業・団体

- 専門性を活かした技術指導等における授業支援・出前講座
- 社会的なスキルやコミュニケーション能力を育むための体験活動への協力

行政

- 教職員に対するスキル向上のための研修
- 教員が子どもと向き合う時間の十分な確保
- ICTの効果的な活用に向けた環境整備と様々な状況の子供への学びの保障

(2) 豊かな地域活動を通じて社会性を育みます

- 地域の子どもを地域で守り育てる主体的な健全育成活動の推進
- 学び合い、よりよい地域社会を創り出す活動の推進

成果
指標

地域の青少年健全育成団体が関わった行事の参加者数(年間)

実績 (2016)

42,546 人

現状 (2019)

41,582 人

目標 (2024)

45,000 人

地域寺子屋に参加した生徒の自己評価で「自分の力を伸ばすことができた。」という質問に「よくできた」「大体できた」と回答した生徒の割合

実績 (2016)

82 %

現状 (2019)

90 %

目標 (2024)

90 %

市民、企業・団体、行政の役割

市民

- 地域活動への参加・協力
- 地域と家庭、学校との連携強化
- 子育てサークル等への参加

企業・団体

- 子どもたちが主体となる行事・活動の創出
- ボランティアが参加しやすい体制づくり
- 子どもたちの見守り

行政

- 子どもたちが主体となる行事・活動の推進
- 地域人材の確保
- 学校との連絡調整、情報提供

(3) 一人ひとりの知識や経験を地域づくりに繋げる機会を提供します

- 自己実現と社会参画への意欲の喚起とその機会の提供
- 多様化する学習ニーズや地域的課題に関する学習機会の提供
- 子育てのための家庭教育力向上への支援

成果
指標

民間講師の講座登録件数とその開催件数(年間)

登録件数

実績 (2016)

13 件

実績 (2019)

21 件

実績 (2024)

24 件

開催件数

51 件

96 件

120 件

公民館・コミュニティセンターの講座学習参加者数(年間)

実績 (2016)

37,464 人

現状 (2019)

34,199 人

目標 (2024)

36,000 人

市民、企業・団体、行政の役割

市民

- 学びの地域還元
- 生涯活躍できる地域づくりに向けた協働
- 公民館、コミュニティセンターにおける社会活動への主体的参画

企業・団体

- 次世代を支える地域人材の育成支援
- 社会教育活動のための場や機会の提供

行政

- 学んだ成果を地域に還元できる仕組みづくり
- 地域課題や市民ニーズに対応した学びの場の提供

【関連する個別計画】 県都まえばし創生プラン、前橋市教育振興基本計画、教育行政方針、まえばし学校教育充実指針、前橋市学校教育情報化推進計画

3 ふるさとを愛し、未来へ繋げる人づくり



4	10	11	15
質の高い教育を みんなに	人や国の不平等 をなくそう	住み続けられる まちづくりを	陸の豊かさも 守ろう
📖	⚖️	🏠	🌳

目標

前橋の自然や文化への理解を深め、愛情や誇りを育むとともに、前橋の歴史・文化を次世代に継承します

- 地域の文化、豊かな自然に触れて学ぶ機会の確保
- 文化財への愛着や保護の精神の育成と、文化財の後世への継承

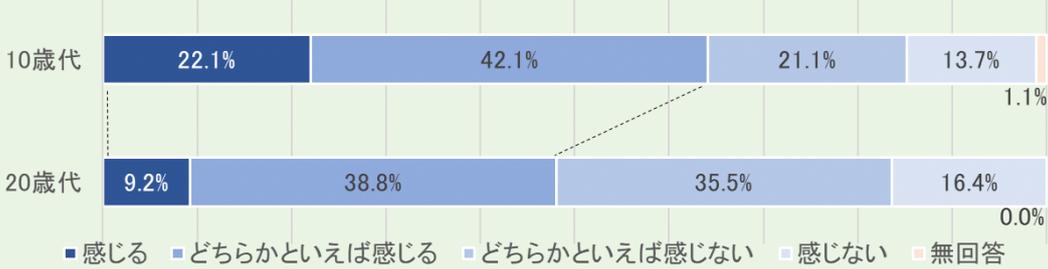
現状と課題

地域の文化財を積極的に活用し、郷土への関心や親しみを高めるとともに、ふるさとの豊かな自然に触れる機会の充実が求められています

- 若い世代における優れた地域素材（豊かな自然や伝統文化等）に対する認識の低下
- 長い歴史に育まれた数多くの文化財の保存継承の脆弱化・担い手の不足
- 子ども達の自然体験活動の不足

関連データ等

【市民アンケート「前橋市の自然・歴史文化・食・風土などに誇りを感じますか。」】



【文化財施設の入館者数】

出典：2019年度 市民アンケート



施策の方向性

(1) 地域の文化や豊かな自然に触れて学ぶ機会を確保します

- 赤城山ろくなどの豊かな自然を活用した体験活動
- ふるさとの良さに気づき、ふるさとを愛する心の育成
- 地域の幼児・小中学生等による異年齢交流、地域の人との交流

成果
指標

里山学校の参加者アンケートで「体験を通して地域の良さを感じた。」と回答した人の割合

実績（2016）

96 %

現状（2019）

97 %

目標（2024）

98 %

市民、企業・団体、行政の役割

市民

- 様々な講座やイベントへの参加
- イベントへの理解、協力
- 魅力ある地域の物、場所、文化の掘り起こし

企業・団体

- 子どもたちを対象としたイベントの企画開催
- 地域の物、場所の提供
- 異業種間の連携

行政

- 地域の文化や自然への理解を高めるための教育活動
- 地域全体で子どもを育てる体制づくり
- 実施地区の情報発信

(2) 文化財等に親しみ、郷土への愛着の心を未来へ繋げていきます

- 文化財施設を活用したイベント
- 文化財施設を組み入れた観光等への協力と連携
- 文化財・郷土芸能等の継承と普及・啓発
- 文化財施設の適切かつ計画的な維持管理

成果
指標

文化財施設の入館者数(年間)

実績（2012）

40,036 人

現状（2019）

91,047 人

目標（2024）

90,000 人

※臨江閣が2016年は休館していたため、実績値を2012年とするもの。

市民、企業・団体、行政の役割

市民

- 文化財への関心を高める
- 講座やイベントへの参加
- 郷土への誇りや愛着を持つ
- 郷土芸能、伝統行事への参加
- 地域社会総がかりによる歴史・文化財の継承

企業・団体

- 文化財施設を含めた観光ルートの作成と観光PR
- 地域振興へ文化財施設の取り込み及び貢献活動
- 文化財施設の利用促進
- 地域の伝統行事、祭り等への協力と支援

行政

- 地域の魅力ある文化財等の掘り起こしと支援
- 前橋観光コンベンション協会等との連携
- 文化財、伝統芸能等への理解を高めるための情報提供、普及・啓発、教育
- 文化財施設の適正管理

【関連する個別計画】 県都まえばし創生プラン、前橋市教育振興基本計画、教育行政方針、まえばし学校教育充実指針

